

2026年度

事業計画書

事業所・委員会名

訪問ヘルパーセンター
しおかぜ琴浦

策定者 ミドルマネージャー 杉原弘茂

1. 2030年度ビジョン

法人共通	モラル・教養・技術を兼ね備えた職業人集団（プロフェッショナル）となり、地域から最も信頼される福祉ブランドを確立する
事業所	児島におけるケアマネ信頼度N01を目指す

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、これをユニットや職種やクラスなどチーム単位に分解する想定。

2. 前年度の振り返り

強み・得意／弱み・問題	児島地区・玉野地区（一部）広い範囲を営業範囲としている／サ責の高齢化
機会・ニーズ／脅威・競合	児島の高齢化・事業所の減少により地域のニーズは高い／ヘルパー不足

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、1行にまとめてOK

3. 当年度の戦略目標

戦略の柱	現状（ビジョンに対する課題・問題点）	成果目標（事業所の定量目標）	行動項目（項目4に分解する）
(1) 組織風土変革 ・規則等理解、ABCDの状況 ・関係の質の状況 ・言葉づかい、服装、マナーの状況 ・職員同士の協力体制の状況	・サ責同士の連携（レスポンス）が遅れがち ・下津井との情報共有・連携強化が必要	・2日以内に報告までを速やかに実施できる ・タイムリーに情報が共有できる	・日頃から報告までの流れを意識できるように会議で伝える ・サ責・管理者のライングループの作成
(2) 人材育成 ・職員の資格保有の状況 ・職員の常識・業務知識・技術の状況 ・現場のOJT体制の状況 ・職員のモチベーションの状況	・介護福祉士3名 ヘルパー2級2名 ・介護保険の制度に知識が不足している	・現状で問題なし ・根拠を持って答えられるようになる	・サ責でテーマを決めて勉強会の実施
(3) サービス品質向上 ・サービス提供時間の状況 ・業務効率化、標準化の状況 ・利用者やご家族の満足度の状況 ・苦情や事故、その対応の状況	・8:00～17:15でニーズは概ね充足している ・実績配布等効率化が図れていない ・特にサービスにおける苦情等はなし	・残業時間の50%減少 ・満足度調査95%以上	・ケアプラン連携システムの導入 ・サ責の業務を棚おろしする ・利用者様 ケアマネの満足度調査の実施
(4) 経営基盤強化 ・事業収支の状況 ・稼働率の状況 ・施設・設備の状況 ・事業所固有のリスクの状況	・予算に対しては収益は上がっている ・サ責稼働率87% ・特に不具合などはありません	・サ責稼働率85%	・毎月1回は営業に回る
(5) 地域支援強化 ・法人地域支援活動への参加の状況 ・地域住民からの認知度の状況 ・拠点独自の支援活動の状況	・サ責は支援活動に1回参加した ・認知度は低いと思われる ・ヘルパーとしての実施はなし	地域活動への理解を深める 地元の利用者様の受け入れを進める	地域活動に1回は必ず参加する ・特に中高年齢との関係性を維持する

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語（何、誰など）を明確にする

事業所内標語

スローガン	現状維持から一歩前へ進もう
-------	---------------

事業所の職員全員で取り組むものを、わかりやすいことばで表せるならグッドです！

4. 年間行動スケジュール

	戦略行動項目 (前掲項目3との関係をカッコ記載)	定例業務	法定研修・訓練 (参加者、人数、立合有無等をカッコ記載)
4月	・ケアプラン連携システムの勉強会(3) ・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	
5月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	BCP(研修) 災害 BCP(訓練) 災害
6月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	
7月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	虐待身体拘束研修
8月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	
9月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3) ・業務の棚卸終了(3)	
10月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	
11月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	感染症研修
12月	・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	事故防止・再発防止
1月	・満足度調査(ケアマネ配布) ・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	BCP(研修) 感染症 BCP(訓練) 感染症
2月	・満足度調査(利用者様配布) ・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	虐待身体拘束研修
3月	・満足度調査 ・サ責連携会議(1)(2)(3) ・営業周り(4)(5)	・虐待・身体拘束・感染症・各委員会 ・ヘルパー会議(1)(3)	

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語(何、誰など)を明確にする

5. 当年度の収支計数・前提条件

収支計数		前提条件	
目標事業活動収入	13,123千円	提供可能時間数	4,168.0時間
目標稼働率	93.10%	利用時間数(年間)	3,880.5時間
事業活動支出予算額	17,124千円	単位/1利用者あたり収入	3,730円
目標事業活動資金収支差額	△4,301千円	(1回あたり平均時間は1.1時間)	
稼働率: 入所・デイ・保育: 期間中延べ利用者数 ÷ (営業日数 × 1日の利用定員)		重点加算(=事業所サービスの特徴)	処遇改善加算II
訪問: 期間中サービス提供時間数 ÷ 期間中勤務延べ時間数			
単位: 1回あたりの数値		自事業所の戦略人材とは?	営業力の強い人材